

# 北海道浮魚ニュース

平成16(2004)年度5号 (通巻 No.169)

2004年6月29日

北海道立水産試験場

ホームページ：[http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道南太平洋スルメイカ北上期調査結果

函館水試調査船金星丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2004年6月21日～6月25日
- ・調査海域：道南太平洋（渡島半島沖～日高沖～下北半島沖）
- ・調査船：金星丸（イカ釣機5台、イカ用集魚灯20灯装備）

昨年（2003年6月23～27日）のデータと比較しました。

今年は台風6号の影響で、漁獲調査は2点でしか実施できませんでした。

### 分布密度は比較的高く、魚体サイズは昨年よりも大きめ。

#### 1. 水温分布（図1、2）

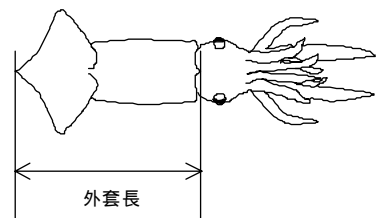
表面水温は、13.1～15.3 の範囲（St.15を除く）にあり、昨年に比べ0～1.9高い値を示していました。深度50m層の水温は、7.0～12.5 の範囲（St.15を除く）にあり、昨年よりも0.1～2.4高い値を示しました。浦河沖のSt.15では、表面水温8.8、50m層2.2であり、この時期のスルメイカの漁獲適水温（表面で10以上）を下回ったため、漁獲調査点をSt.13へ移しました。

#### 2. 分布密度（図1、2、表1）

漁獲調査を行った2地点（St.1とSt.13）のCPUE（2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は、4.3と16.9（昨年：1.3～10.2）でした。両地点で昨年を上回りました。また、平均CPUEは10.6であり、平成9年以降のデータでは比較的高い値でした。

#### 3. スルメイカの大きさ（図1、2、表1）

スルメイカの外套長（胴長）は、調査点全体で13～21cm（昨年10～20cm）の範囲にありました。モード（最も多く漁獲されたイカの大きさ）は18cmにあり昨年（モード14～17cm）に比べると、大型でした。



#### 4. まとめ

道南太平洋におけるスルメイカの分布状況は、分布密度が比較的高く、魚体は昨年よりも大型であると考えられます。

（文責：函館水産試験場資源管理部、TEL：0138-57-5997 直通、FAX：0138-57-5991）

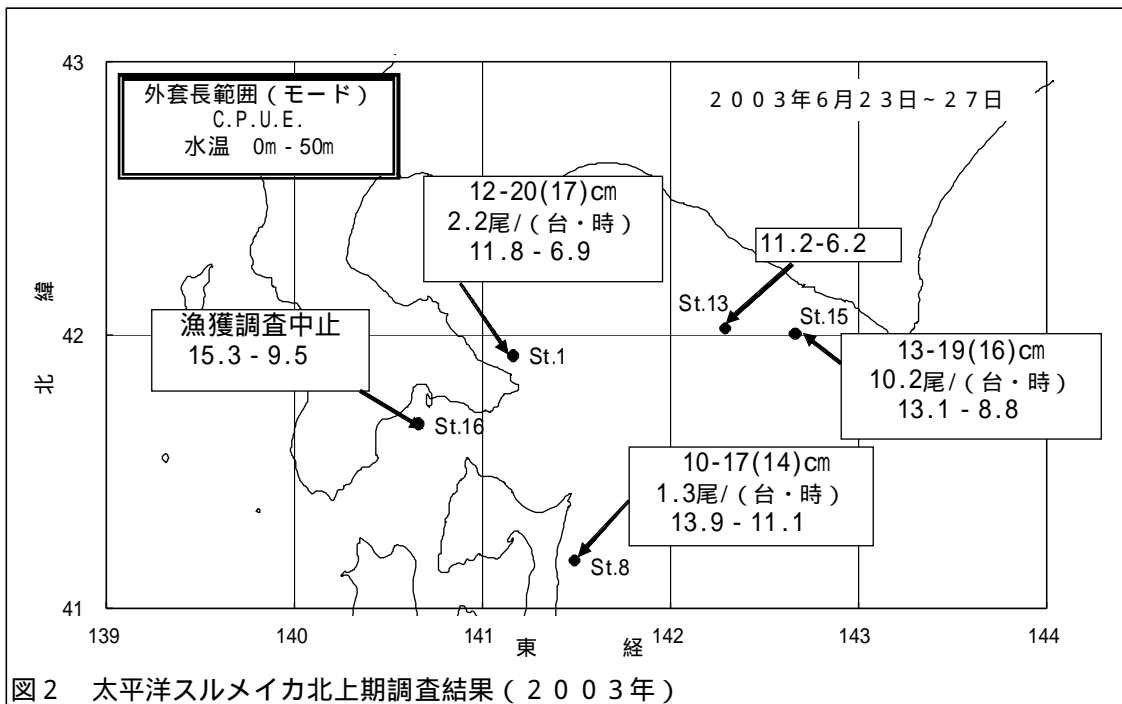
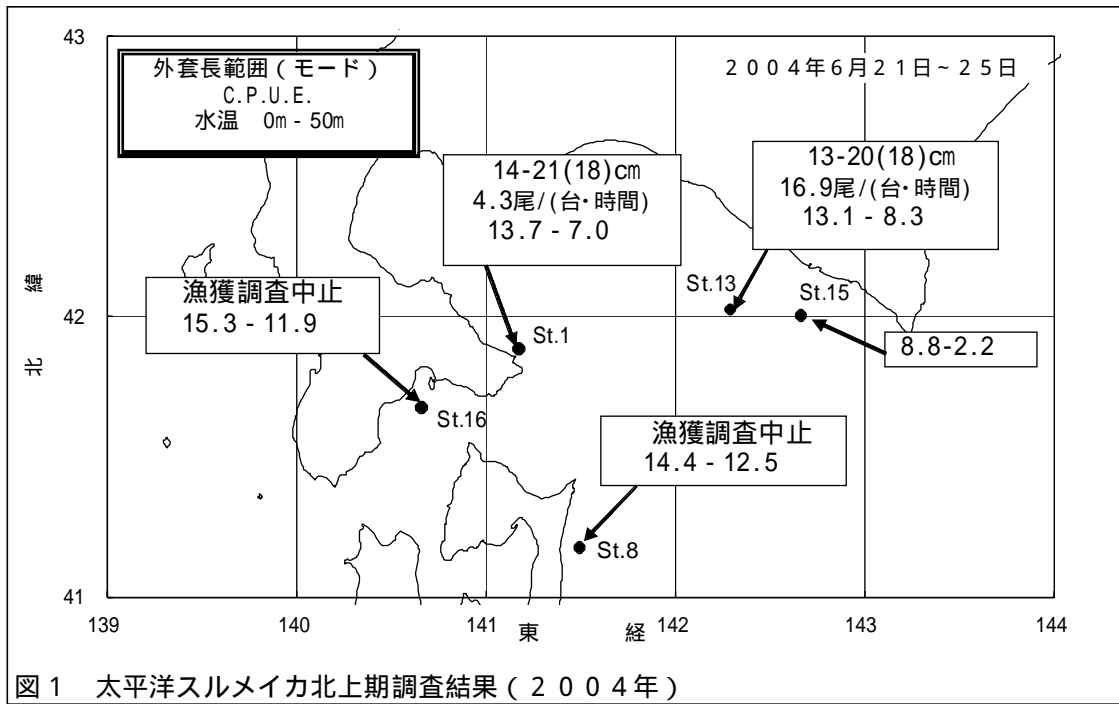


表1 道南太平洋スルメイカ北上期調査時のC P U E と外套長の経年変化

4調査点の	1997(H9)	1998(H10)	1999(H11)	2000(H12)	2001(H13)	2002(H14)	2003(H15)	2004(H16)
平均C P U E (尾/台・時間)	7/1-9	6/29-7/7	6/28-7/8	7/3-7	7/2-5,9-13	6/24-28	6/23-27	6/21-25
外套長の範囲 (cm)	12-26	12-24	14-25	12-20	9-24	13-21	10-20	13-21
外套長モードの範囲 (cm)	16-24	15-17	14-18	15-16	15,19	15-17	14-17	18